

第11回武庫川エコハイク（武庫川縦断ハイク・その4）

# 藍本から広野まで

**平成20年 2月 9日(土) 雨天中止**

阪神間の「母なる川」武庫川を皆さんに知っていただくため  
『武庫川エコハイク』を連続して行っています

武庫川を源流から河口まで8回に分けて歩きます  
4回目の今回は藍本から広野まで  
大蛇行している武庫川を見ながら堤防の上を歩きます

集合：9時30分 JR福知山線藍本駅西側広場

ルート：JR藍本駅—酒滴神社—曲—駒宇佐八幡宮  
—須磨田—本庄小学校—井ノ草—JR広野駅  
(約14km・健脚向き)

解散：15時30分ごろ JR広野駅

参加費：無料

申し込み：不要（当日集合場所にお越しください）

持ち物：弁当、飲み物、防寒具、雨具

服装：ハイキングできる服装

お問合せ：エコグループ・武庫川

Tel：0797-74-4724 または携帯 090-3844-0330(伊藤)

主催：エコグループ・武庫川

後援：兵庫県阪神北県民局

武庫川流域環境保全協議会

武庫川流域環境保全協議会は兵庫県、流域7市（神戸市・尼崎市・西宮市・伊丹市・宝塚市・三田市・篠山市）、環境保全団体、漁協、衛生団体、商工会議所、農協、婦人会の各団体によって構成されています。

## 武庫川縦断ハイク④ 藍本から広野まで

第 11 回武庫川エコハイク  
080209 エコグループ・武庫川

**武庫川** 全長 65km、流域面積 500km<sup>2</sup>、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門（むこみなど）」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。

**藍本庄宿** 江戸時代の丹波街の往還の要衝にあたり、藍新町の名が出たところで、夜に日をついで駅鈴の音が聞こえ、紅灯のもと、弦歌の絶えることなく栄えたといわれる。孝徳天皇 647 年が藤原鎌足に命じて藍の種子を本庄地区に蒔かれた。栽培地は相野、広野まで広がり、藍の本として藍本と呼ばれた。

**酒滴神社** 貞観年間(859～877)疫病が流行したとき、村人の夢の中にスサノオノミコトと名乗る童子が現れ、山中に湧く霊水を教えた。その霊水を飲んだ病人がたちどころに治ったことから信仰を集めた。第 1 鳥居の石造鳥居は応永 2(1395)年造立で県下最古のものとされ、宝塚市の波豆八幡神社と同じ形式で波豆の石工が製作したものと考えられている(県指定文化財)。また神社には算法額が奉納され県下最古のものとされている(市指定文化財)。

**酒滴のお水(伝承)** 酒滴神社の裏山に岩辻山という大きな岩山がある。その岩の間から「霊水」と呼ばれる清水が湧いていた。平安時代、はやり病で死ぬ者が多かった。「病を治すには岩辻山の霊水を飲むのがよい」という霊言が広まった。都にも病が広まり、時の帝は霊水を取り寄せられ、病人に飲ませると不思議に治ったという。そこで社を建て「酒滴神社」と命名した。また一説には伊丹の酒造家雑喉屋文右衛門がこの水を汲んで帰って酒作りをしたところ、おいしいお酒ができたので、その後ここから水を運んで酒作りをしたという。

**虚空蔵山の虚空蔵寺** 酒滴神社の裏山に虚空蔵寺がある。聖徳太子が伽藍を建てられたと伝えられる。戦国時代の天正 7(1579)年明智光秀の丹波攻めの際に兵火に会い、伽藍を焼失した。その後再建されたが元の姿には戻っていない。13 歳の女子がお参りする十三参りが行われる。虚空蔵山はハイキングコースともなっている。

**コリヤナギの堤防** 大安橋から上流の武庫川右岸にはコリヤナギが植えられて近自然堤防が作られている。コリヤナギは豊岡名産の柳行李の材料と同じ。

**曲** 武庫川がここで 360 度曲る。この武庫川に囲まれた地区には中世の城郭跡があり、堀相模守という領主がいたといわれる。今は稲荷社と曲り公会堂がある。

**波田橋** 波田橋は国道 176 号線と並んで小さな橋がある。これは丹波街道の橋である。波田の集落を抜けて藍の宿へ進む。この辺りの武庫川の流れは最も緩い。

**通称「芸術家村」** 岩倉地区には芸術家が多くアトリエを持ち、通称「芸術家村」と呼ばれている。青野ダムサイト公園などの野外彫刻で知られる新宮晋先生、有馬富士公園の石彫刻の作者故東山嘉事先生、陶芸家の荒木高子先生などの名前がある。

**お鶴としじみ貝(伝承)** お鶴という親思いのかわいい娘がいた。ある日体の弱い父親のために川へしじみ取りに出かけた。たくさんのしじみを取った帰り、淵から足を滑らせて死んでしまった。引き上げられたお鶴の胸にはしっかりとしじみの入ったカゴが抱きかかえられていた。あわれんだ村人たちはその淵を「お鶴淵」と名づけ、そのかたわらに 1 本の松を植え、「お鶴松」と呼んだ。

**藍本浄化センター** 藍本地区の浄化センター、農水省所管の農業集落排水事業で設置されている。

**幡尻の記念碑** 昭和 63(1988)年の幡尻川改修とこの地区の圃場整備の記念碑。

**駒宇佐八幡神社** 貞観元(859)年み託宣によって創立されたと伝えられる。九鬼家の祈願所となった。本殿は明和 3(1766)年に建立され、舞殿、長床とともに市指定文化財。毎年 11 月 23 日に奉納される百石踊りはもともと雨乞いの踊りで県指定無形民俗文化財。

**白馬天を行く(伝承)** 昔、豊前国宇佐(大分県)の菱潟地に神童子が現れ「我こそは八幡大菩薩である。どんなことでもできる神通力を持っている」と言って白馬に飛び乗り、八流の幡をなびかせ東を駆け回っていた。ここ摂津の有馬郡本庄の上空を飛んでいると、下から藍色の雲が昇ってきた。童子はここは絶好の地と舞い降りた。そして「我こそは宇佐八幡の大神なるぞ！」と大音声をあげた。村人は大変驚き、喜んだ。宇佐から駒で来られたというので「駒宇佐八幡神社」としてお祀りした。社殿の前に駒が岩になった岩倉がある。また武庫川の右岸にかけて流鏑馬に使われたという「的石」がある。

この付近には大音所、幡尻、幣之島などの字名が残る。

**駒宇佐八幡神社自然環境保全地域** 兵庫県自然環境保全地域 10 ヘクタール、コジイ、ウラジロガシの群落がある。

**大音所の河川改修の記念碑** この谷は大雨が降ると武庫川が氾濫を繰り返していた。昭和 55(1980)年工費 50 億円を投じて河川改修が行われ、河拡幅、直線化されて氾濫はなくなった。(地図参照)

**さくらんぼ並木** 日之詰橋から大橋に至る右岸堤防上にさくらんぼの並木がある。サトウシキ、などがある。

**安井酒造** 日之詰橋の北側に安井酒造場がある。三田市に 2 軒ある酒造家のうちの一軒。銘酒「武庫泉」の蔵元。

**須磨田の有機農業の里** アイガモ農法など有機農業を推進している地区がある。

**大橋** 武庫川上流の水質測定箇所。

**武庫川原風景?** 井の草付近には武庫川の原型を思わせる風景が残る。

**サイホン橋** 青野川支流の青野西谷川の上流にある母子大池からの用水路の橋。母子大池は大正末下流 10 ヶ村のために市内最大のため池。右岸台地上にある芝添池に注ぐ逆サイホン管が通る。このお陰でこのあたり大畑地区の農地が潤うようになった。

**相野川** 西相野に源流を発する武庫川の支流、広野で武庫川に合流する。